

JMRC 地区通信

JMRC各地区から名物イベント情報や規則改正、告知などのお知らせを発信する地域の伝言板ページです



今年も開催します！ 「ラリーのいろは」

昨年は定員を大幅に上まわるご応募を頂き大好評を博したJMRC北海道ラリー部会主催のラリーセミナー「ラリーのいろは」、今年もさらに魅力アップさせて開催します。選手やオフィシャルとしてラリーに関わりたくない、ルールがよく分からない、また



ラリーをもっと詳しく知りたい、という方々が対象のこのセミナー。ラリー競技の進行やルールを座学で学んだ後は、オフィシャル模擬体験でさらに理解を深めます。昨年の受講者からは、今年もラリーに選手やオフィシャルとして参加する人も出ています。今年もさらに、ジムカーナ場を会場として、午後の実技は屋外に各ポストを設置し、実際に車を走らせて実態に近い形式での講習を行います。初参加はもちろん、

選手やオフィシャルの経験者で質問がある方も、気軽に参加してください。



なお、この講習を受講すると、モータースポーツBライセンスと、オフィシャルとしての審判員ライセンスを通常より割安に取得できます。ぜひこの機会にライセンスを取ってみませんか？ 11月29日(日) 10時～15時 会場は新千歳モーターランド・ジムカーナ場ASP(アクティブ・セーフティ・パーク)です。セミナー受講料2000円(テキスト代・昼食代込み)は当日現地でお支払いください。各種ライセンス取得には別途費用等がかかります。お申込みの受付は11月2日(月)～23日(月・祝)まで。定員は30名です。詳しくは下の帯にあるURLをご参照ください。

<http://jmrc-h-rally.sblo.jp>



関東ジムカーナフェス 20年ぶりに茨中で開催します

今季も終盤となり、全国規模のジムカーナ競技会は、11月に近畿で開催されるJAFカップを残すのみとなりました。関東でも、各シリーズが10月末で終了しました。各都

県シリーズの上位選手を中心に、都県対抗で競い合う「2015 JMRC関東ジムカーナ・フェスティバル」が今年も11月17日に開催されます。舞台は20年ぶりに茨城中央サ

ーキットとなります。一昨年は千葉・東京チームが、昨年

は埼玉・群馬チームが地区対抗戦を制しました。今年は何の都県チームが制するのでしょうか？ また関東の各都県シリーズを1年間戦ってきた各選手と、関東のオールスターシリーズ及びチャンピオンシリーズを戦つてきた選手が同じコースでどんな勝負を見せるか、熱い戦いをぜひ会場でご観戦ください。



中部ジムカーナを支える 会場独自のシリーズ戦

中部のジムカーナは、JMRCシリーズの他に、会場独自のシリーズ戦、キョウセイシリーズ、美浜スーパージムカーナがあり、ここからJMRC全日本と繋がるピラミッド構造で中部の選手層の厚さに貢献しています。参加車両の範囲も広く、参加しやすくなるための工夫を凝らしています。全日本戦も開催された中部を代表するコース、キョウセイは、広大な会場を端から端まで使った超ハイスピードコースや、ツイントライアルのような並走コ

ースも設定。美浜サーキットは中部国際空港近くのミニサーキットで、中速コーナーの多い攻略の難しいコース。1分20秒近いコースを5本も走行できる(慣熟2本・本番2本・反省走行1本)など、初心者も大満足できる設定となっています。ぜひ来季の参戦候補の選択肢に加えてみてください。



<http://www.jmrc-chubu.jp/>

<http://www.jmrc-kanto.org>

JMRCとは?

JMRCは「JAF Motorsports Clubs Regional Conference」の略語で、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ、レースなどのモータースポーツを楽しむ参加者、主催者を応援するとともに、業界の発展を目指して活動を行っている組織です。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地区に分かれています。

JMRC
四国

中四国ラリー選手権MAC マクリン選手が初優勝!

MACラリーin久万高原が9月12日、松山オート・クラブ(MAC)の主催で愛媛県久万高原町にある白銀荘(元美川スキー場)をスタート・サービスマックに開催されました。全日本戦と同じ林道を走れることから地区戦選手たちに好評でしたが、今年は全日本戦がターマックとなり、グラベルとターマックのミックス路面となった今戦に、グラベルを走りたいという参加者も多かったようです。西日本クラブツアーの参加者に加え、九州から5台、近畿から6台の他、中部からも参加があるなど、大いににぎわいました。

当日は早朝から天候にも恵まれ、前日の適度な雨のおかげで土埃の立たない絶好のラリー日和となりました。ラリーは昨年とよく似た構成で、計6SSを設定。SS1は大谷線の下りを駆け抜ける設定で、13台と最多クラスのFG・4クラスでは序盤から調子が良いマクリン大地/大橋正典が、地元のパベラン渡部洋三/池田茂にコンマ9秒競り勝ちトップ。前戦の覇者である宮川優一/北川紗衣にもコンマ6秒差をつけましたが、SS2でアッサリ宮川に1・5秒離されました。しかし、続くSS3で宮川がコースアウトすると、SS5では接戦の渡部に対しマクリンが1kmあたり1秒差をつける驚異的なトップタイムをマーク。最終SSも3番手タイムで走り抜き、念願の初優勝を飾りました。



FG・3クラスもパベラン揃いで平均年齢がやや高い顔ぶれ。12台中ブルーX4が4台を占め、熾烈な戦いが予想されましたが、SS1~4まで松原久/和田善明がベストタイムを連発し、文句なしの優勝を決めました。九州から参加で活躍が期待された古川寛/廣田幸子はSS4でリタイアとなり、2位には近畿から遠征の東隆弥/森井康貴が入りました。

注目のFG・2クラスでは、昨年度の全日本王者、中西昌人/廣瀬香織がマシントラブルでリタイアとなる一方で、近畿から遠征の川村貴宣/中村真人が無事走り抜き、優勝しました。寺川和紘/石川美代子が今戦をスキップしたので、両者のタイトル争いは持ち越されることになりました。

<http://www.jmrc-shikoku.gr.jp>

JMRC
近畿

近畿ラリーシリーズ ギヤラスステで地域に貢献

今年の近畿各シリーズも最終戦までタイトル争いがもつれる熾烈な争いが展開されています。アベレージラリーシリーズは、10月24日の「ヒストリック関西ラリー」が最終戦。「ヒストリッククラス」も特設されます。来年のアベレージラリーシリーズのカレンダーは10月末に決定しますが、今年と同じ計6戦の予定です。8月のSSラリーシリーズ第2戦「丹後半島ラリー2015」では、道の駅「丹後王国」にギャラリーステージを設定しました。

近年は、地域自治体の協力を頂きギャラリーステージを設定していますが、そのことで参加選手や主催者、観客など多数の人たちが開催地を訪れ、地域振興への貢献につながっています。今年、JAF関西本部様から、福井県南部の2市4町と福井県嶺南振興局に感謝状を贈呈していただきました。



中四国ラリー選手権 最終戦は波乱の展開!

FG地区最終戦は10月17日、岡山県大佐山周辺で行われました。今季創設したFG・1クラスは、今回最多となる6台がエントリー。RPN車両勢は舗装好きのようです。完走してポイントを獲得したタイトル確定の安藤スイフトは、排気量差で田村シビックが有利かと思われましたがブッチギリで優勝。初代FG・1王者に輝きました。FG・4はシリーズリーダー渡部が不参加の中、マクリン、長江、西、松岡と4台のランサーがエントリー。松岡が自滅、西がリタイアした時点で完走すればタイトル確定のマクリンは、SS4で左前を破損。全6SS中、5本でベストをたたき出した長江が初優勝しましたが、タイトルはマクリンが手中に収めました。FG・3は舗装戦のみ参加の金子が、貫録の速さで勝利。FG・2は僅差で芳谷アルトが競り勝ったか見えましたが、痛恨の計算ミスで片山アルトが優勝しました。シリーズ表彰式は2月13日(土) 瀬戸内マリンホテル(岡山県玉野市)で行われます。

<http://jmrc-chugoku.org>

<http://www.h6.dion.ne.jp/~s11/>